資料-3

様式Ⅱ－4

公共工事等における新技術活用システム
事前審査結果

技術名称	カルグリ（NETIS 登録番号：KT-010060）
申請者名	日本メサライト工業株式会社（代表者：川崎正士）

確認対象	コメント
経済性	船橋市から 50km 以内の距離圏であれば、従来工法である EPS 工法と比較して有利となる。同種の SGM 工法、FCB 工法と同程度の経済性を有する。

確認対象	判　　定	コメント
1.安全性	■問題がない □留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	
2.耐久性	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	スレーキング試験に基づく乾湿繰り返し抵抗に関しては、問題は少ないと考えられる。しかし、凍結融解に対する抵抗性に関しては、寒冷地での施工実績がほとんどなく、寒冷地で実施工する場合には、事前に再生骨材の凍結融解試験を行う必要がある。
3.品質、出来形	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	適切な締固め方法を採らないと、粒子破砕を起こす可能性がある。ランマーでの締固めはしないよう、施工者に注意喚起を図るとともに、それ以外にも材料供給者が前提として示している締固め管理を徹底させる必要がある。
4.施工性	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	凍結融解の繰り返しに弱い材料であるとすれば、寒冷地では止水ないし断熱対策を施したうえでの適用、水の浸入がない用途での適用が求められる。凍結が懸念される場合の適用条件、適用用途の明確化が望まれる。
5.環境	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	下水汚泥の焼却灰を使用することがあるため、土壌環境基準に基づく溶出量基準および土壌汚染対策法に基づく含有量の指定基準を満足することを事前に確認する必要がある。
6.その他	□問題がない □留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	

確認対象	コメント
効果及び適用条件・適用範囲	透水性が良く排水対策が不要なため、排水対策が求められるような箇所においては、工程短縮・コスト縮減が図られる。ただし、寒冷地における凍結融解に対する耐久性が懸念される。寒冷地での活用にあたっては、事前に凍結融解試験を行う必要がある。その結果によっては、止水あるいは断熱対策を施したうえでの活用や水の浸入がない用途での活用に限定する必要がある。寒冷地における適用条件、適用用途の明確化が望まれる。

総合的評価	□現場での試行可（□全額負担　□一部負担）【　　】 ■条件付試行可　（□全額負担　■一部負担）【寒冷地で実施工を行う場合には、事前に再生骨材の凍結融解試験を行う必要がある。また、標準工法までは官負担、それを超える部分は申請者負担】 □技術的改善を要する。　【　　】 □事前審査のためのデータが不足している。【　　】

※審査結果の内容についてのお問い合わせおよび再審査に関するご相談は新技術活用評価会議事務局にお寄せください。

連絡先：東北地方整備局新技術活用評価会議事務局
担当：東北地方整備局
企画部　施工企画課
課長補佐　川津孝徳
施工係長　山本　賢
TEL：022-225-2171